

『選べる外貨』・『選べる HIGH・LOW』取引ガイド（個人・法人口座共通）（抄）新旧対照表

| 改定前 | 改定後 |
|--|---|
| <p>1. 取引のリスク等重要事項について</p> <p>1. 為替相場・金利相場変動リスク</p> <p>②外国為替保証金取引『選べる外貨』の逆指値オーダーは、<u>外国為替取引の性質上、通常の市場環境においても指定レートよりも3銭(ポイント)程度お客様に不利なレートで約定されます(スリッページ)。又、値動きが荒い等市場の状況によっては、指定レートから大きく乖離したレートで約定したり、相場状況の急変でビッドとオファーの開き(スプレッド)が拡大したりすることがあり、その場合には、投資金額以上の損失を被る可能性があります。</u></p> <p>④外国為替オプション取引『選べる HIGH・LOW』は、<u>権利行使方法の異なる2種類のタイプがあり、取引の申込受付日とオプションを行使できる期日(期間)(以下、「権利行使期日(期間)」といいます)に制限があります。市場の値動きが荒い等の状況によりオプションの価値が大きく変動した場合には、受付時間内に受け付けられたお申込であっても、当社がそのお申込の受付を取消すことがあります。</u> <u>権利行使期日のみでオプションの権利行使ができるタイプでは、権利行使期日において、円安・円高を予想するコースの場合、為替相場が権利行使価格を超えていると当社が判定した場合に、支払ったオプション料を上回る利益が得られますが、権利行使期日に為替相場が権利行使価格を超えていないと当社が判定した場合には、支払ったオプション料の全額を失うこととなります。又、為替相場が一定のレンジ内に収まる事を予想するコースでは、権利行使期日において為替相場が2つの権利行使価格の間に収まっていると当社が判定した場合には、支払ったオプション料を上回る利益が得られますが、為替相場が2つの権利行使価格の間に収まっていないと当社が判定した場合には、支払ったオプション料の全額を失うこととなります。</u> <u>一方、約定日から権利行使の最終日までの間(権利行使期間)いつでもオプションの権利行使ができるタイプでは、円安・円高を予想するコースの場合、権利行使期間において、為替相場が権利行使価格に一度でも達したと当社が判定した場合に、支払ったオプション料を上回る利益が得られますが、権利行使期間において為替相場が権利行使価格に一度も達していないと当社が判定した場合には、支払ったオプション料の全額を失うこと</u></p> | <p>【2012年4月1日改定】</p> <p>1. 取引のリスク等重要事項について</p> <p>1. 為替相場・金利相場変動リスク</p> <p>②外国為替保証金取引『選べる外貨』の逆指値オーダーは、<u>値動きが荒い等市場の状況によっては、指定レートよりもお客様に不利なレートで約定される場合があります(スリッページ)。又、相場状況の急変によりビッドとオファーの開き(スプレッド)が拡大することがあり、その場合には、投資金額以上の損失を被る可能性があります。</u></p> <p>④外国為替オプション取引『選べる HIGH・LOW』は、<u>取引の申込受付日とオプションを行使できる期日(期間)(以下、「権利行使期日(期間)」といいます)に制限があります。市場の値動きが荒い等の状況によりオプションの価値が大きく変動した場合には、受付時間内に受け付けられたお申込であっても、当社がそのお申込の受付を取消すことがあります。又、権利行使期日(期間)において、為替相場が権利行使の条件を満たしていると当社が判定した場合は、支払ったオプション料を上回る利益が得られますが、権利行使の条件を満たしていないと当社が判定した場合には、支払ったオプション料の全額を失うこととなります。</u></p> |

『選べる外貨』・『選べる HIGH・LOW』取引ガイド（個人・法人口座共通）（抄）新旧対照表

| 改定前 | 改定後 |
|--|---|
| <p>になります。又、為替相場が一定のレンジ内に収まる事を予想するコースでは、権利行使期間において為替相場が2つの権利行使価格に一度も達することなく、その間に収まっていたと当社が判定した場合には、支払ったオプション料を上回る利益が得られますが、為替相場が2つの権利行使価格のどちらか一方に一度でも達したと当社が判定した場合には、支払ったオプション料の全額を失うこととなります。</p> | |
| <p>4. 外国為替保証金取引『選べる外貨』について</p> <p>(2) 『選べる外貨』の取引概要</p> <p>ロールオーバー方式</p> <p>* スワップ・ポイント</p> <p>2 国間の通貨の金利差から発生する差額です。外国為替取引を行った時、お客様が「売る通貨」を借りて「買う通貨」を預金するとお考えください。「買った通貨」の金利が「売った」通貨の金利より高い場合には、<u>スワップ・メリットとして金利差相当額を受取ることができ、逆の場合には、スワップ・コストとして支払うこととなります。</u></p> <p>* スワップ・ポイントにはビッドとオファーの開き（スプレッド）があり、支払いと受取りの金額が異なります。</p> <p>* スワップ・ポイントの受払いは、各国の金利情勢等により変動し、市場金利の動きに応じて日々変化します。そのため、その時々々の各国の金利水準によってスワップ・ポイントの受払いの金額が変動したり、場合によっては受払いが逆転したりする可能性があります。</p> <p>* 日々のスワップ・ポイントの受払い額は、当社ホームページ及び取引画面内にてご確認いただけます。</p> | <p>4. 外国為替保証金取引『選べる外貨』について</p> <p>(2) 『選べる外貨』の取引概要</p> <p>ロールオーバー方式</p> <p>* スワップ・ポイント</p> <p><u>ポジションをロールオーバーする際に、保有ポジションの対象通貨の金利差から発生する差額のことを「スワップ・ポイント」といいます。外国為替取引を行った時、お客様が「売る通貨」を借りて「買う通貨」を預金するとお考えください。「買った通貨」の金利が「売った」通貨の金利より高い場合には、金利差相当額を受取ることができ、逆の場合には、金利差相当額を支払うこととなります。</u></p> <p>* スワップ・ポイントにはビッドとオファーの開き（スプレッド）があり、支払いと受取りの金額が異なります。</p> <p>* スワップ・ポイントの受払いは、各国の金利情勢等により変動し、市場金利の動きに応じて日々変化します。そのため、その時々々の各国の金利水準によってスワップ・ポイントの受払いの金額が変動したり、場合によっては受払いが逆転する可能性があります。</p> <p>* 日々のスワップ・ポイントの受払い額は、当社ホームページ及び取引画面内にてご確認いただけます。</p> <p><u>* ポジションをロールオーバーする場合、スワップポイントは1円（セント、ペニー）未満の端数も含めて日々加算されていきますが、決済時には1円未満の端数を切り捨てます。売買損益についても決済時の端数の取り扱いと同様です。</u></p> |
| <p>4. 外国為替保証金取引『選べる外貨』について</p> <p>(3) 『選べる外貨』の売買オーダー</p> | <p>4. 外国為替保証金取引『選べる外貨』について</p> <p>(3) 『選べる外貨』の売買オーダー</p> |

『選べる外貨』・『選べる HIGH・LOW』取引ガイド（個人・法人口座共通）（抄）新旧対照表

| 改定前 | 改定後 |
|---|---|
| <p>オーダーの種類</p> <p>2. 指値オーダー 売買するレートを指定する方式です。買いの場合には現在の<u>実勢レート(ビッドレート)</u>より低いレートを、売りの場合には<u>実勢レート(オファーレート)</u>より高いレートをお客様にご指定いただきます。</p> <p>3. 逆指値オーダー 指値オーダーと同じく売買するレートを指定する方式です。しかし、指値オーダーと異なり、買いの場合には現在の<u>実勢レート(オファーレート)</u>より高いレートを、又、売りの場合には逆に<u>実勢レート(ビッドレート)</u>より低いレートをお客様にご指定いただきます。逆指値オーダーの場合は、本ガイド2ページでご説明したように、<u>外国為替取引の性質上、スリッページ(お客様の指定レートより不利なレートで約定すること)が生じます。</u></p> <p>4. 外国為替保証金取引『選べる外貨』について (4) 『選べる外貨』の自動ストップロス制度について 自動ストップロス・オーダーのスリッページ 自動ストップロス・オーダーは、損失が別途「取引要綱」に定める限度を超えないことを確約するものではありません。<u>又、外国為替保証金取引『選べる外貨』では、お客様ができる限りポジションを維持できるように、外国為替市場で自動ストップロス・オーダーのレートが取引されても直ちに自動ストップロス・オーダーを執行するわけではありません。そのレートでの取引がすべて執行されたと判断した時、次のレートにて自動ストップロス・オーダーが執行されます。従って、通常の市場環境で3銭(ポイント)程度のスリッページが発生します。なお、値動きが荒い等市場の状況によっては、それ以上のスリッページが発生し、お客様がコース保証金以上の損失を被ることがあります。</u></p> | <p>オーダーの種類</p> <p>2. 指値オーダー 売買するレートを指定する注文方式です。買いの場合には現在の<u>ビッドレート</u>より低いレートを、売りの場合には<u>オファーレート</u>より高いレートをお客様にご指定いただきます。買いの指値オーダーは、<u>オファーレートがお客様の指定レートに達した時点で執行され、また、売りの指値オーダーは、ビッドレートがお客様の指定レートに達した時点で執行されます。</u></p> <p>3. 逆指値オーダー 指値オーダーと同じく売買するレートを指定する注文方式です。しかし、指値オーダーと異なり、買いの場合には現在の<u>オファーレート</u>より高いレートを、又、売りの場合には逆に<u>ビッドレート</u>より低いレートをお客様にご指定いただきます。買いの逆指値オーダーは、<u>オファーレートがお客様の指定レートに達した時点で執行され、売りの逆指値オーダーは、ビッドレートがお客様の指定レートに達した時点で執行されます。</u>なお、逆指値オーダーの場合には、本ガイド2ページでご説明したように、<u>値動きが荒い等市場の状況によっては、お客様の指定レートより不利なレートで約定される場合があります(スリッページ)。</u></p> <p>4. 外国為替保証金取引『選べる外貨』について (4) 『選べる外貨』の自動ストップロス制度について 自動ストップロス・オーダーのスリッページ 自動ストップロス・オーダーは、損失が別途「取引要綱」に定める限度を超えないことを確約するものではありません。自動ストップロス・オーダーは、<u>逆指値オーダーと同様に、買いの場合にはオファーレートが自動ストップロス・オーダーのレートに達した時点で執行され、売りの場合にはビッドレートが自動ストップロス・オーダーのレートに達した時点で執行されます。また、値動きが荒い等市場の状況によっては、自動ストップロス・オーダーが設定レートよりも不利なレートで約定されることがあり(スリッページ)、その場合には、お客様がコース保証金以上の損失を被ることもあります。</u></p> |